

◆2021年 中学入試算数 講評【麻布】

麻布は例年、工夫して解けば計算の負担が大きすぎず、試行錯誤からの発見を中心とした、算数・考えることの楽しさが土台にあるシンプルな出題が多いです。今年もまさにそのような出題でした。

大問3 平面図形 規則性

工夫することで、計算する複雑さを大幅に減らすことができる、同校が好んで出題する問題です。

大問4 整数 小数

整数部分と小数部分に分けて考えますが、本質的には整数問題で、また、(1)で調べてみたことを、(2)で応用させることで、筋の良い試行錯誤、探索を求める、同校が極めて好んで出題してくるタイプの問題です。

(ほぼ同じ問題が出題されたことはありませんが)

大問5 推理

ほぼ、試行錯誤のみを問うている問題です。

正しく理由を言語化できなくても、直感的に筋の良い試行錯誤ができるかを主題にした問題で、このような問題も麻布は好んで出題します。

大問6 整数 場合の数

誘導に従い、4通りの場合わけで、筋良く数え切ることを求める、これまた同校らしい出題。今年と同校の出題の中では、大問4、6の難易度が高いが、例年と比べると、易しくシンプルな出題。